

国立大学附属幼稚園からの提案7

附属幼稚園における 健康な心と体を育てる“食育”の取組



平成24年3月

全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会

発刊にあたって

国立大学附属幼稚園での研究活動の現状を紹介し、合わせて幼児教育の新たな道筋を提案することを目的に年度ごとに発刊してきたリーフレットも、本号で第7号となりました。皆様のご支援・ご協力により、前号までのリーフレットが国立大学附属幼稚園での保育研究を一目で知ることのできる基本資料として位置付き、全国で活用されていることを大変うれしく思います。

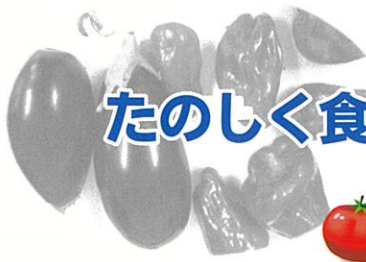
本号では「健康な心と体を育てる“食育”の取組」をテーマとして、あらゆる人の生活の中心である“食”の視点から子どもの育ちを考えてみました。活動の一端をご紹介いただいた6園の皆様、および貴重なご助言を賜りました文部科学省初等中等教育局幼児教育課の津金美智子様には深く感謝を申し上げます。そして、本リーフレットをご覧いただいた皆様には、日々の取組みの中で様々な形でこれをご活用いただきますようお願い申し上げます。

全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会

部会長 矢 島 裕 介

目 次

発刊にあたって	1
たのしく食べて、心と体も元気な子を育てるために	北海道教育大学附属函館幼稚園…… 2
豊かな体験と多様な連携を生かした食育の推進	北海道教育大学附属旭川幼稚園…… 3
「食」をはぐくむ一人一人の育ち	山梨大学教育人間科学部附属幼稚園…… 4
食べることを楽しむ生活	静岡大学教育学部附属幼稚園…… 5
保護者と共につくる“食育”	金沢大学人間社会学域学校教育学類附属幼稚園…… 6
食べること 生きること	香川大学教育学部附属幼稚園高松園舎…… 7
コラム	文部科学省初等中等教育局幼児教育課教科調査官 津金 美智子…… 8
平成24年度 全国国立大学附属幼稚園研究テーマ一覧	9・10



たのしく食べて、心も体も元気な子を育てるために

北海道教育大学附属函館幼稚園



生活の中にある食育

子どもの心と体を健康に育てるためには、基本的な生活習慣を丁寧に教えることが重要となることから、本園では、「食事」「排泄」「遊び」「眠り」など、生活リズムの流れの中にある「食べること」を大切に、「生活の中にある食育」に視点をあて日常の保育をしています。

食に関わる園行事では、「みんなで楽しく」を活動の主軸に据え、人と関わり合いながら料理を作ったり食べたりする経験を通し、喜びや楽しさ、食べ物への興味などを広げられることを意識して取り組んでいます。

また、食べることの基盤である家庭と十分に連携をとり、一人一人の子どもの課題に応じながら、食育をすすめることが大切であると考えています。

家庭の様子・園の様子

子どもの食事に関する情報を共有するとともに、食育講座、各種たより、給食試食会などを通して家庭との連携強化を図っています。



楽しい食の行事

収穫体験では秋の实りを五感で体感します。また、クリスマスケーキ作りや、日本の伝統的なお正月の行事「餅つき」など、親子と一緒に調理し食べる機会を通して、楽しさや喜びを味わいます。



お弁当・パン給食

先生や友達と、楽しい雰囲気の中で食事をしながら、少しずつ食事のマナーを身につけ、好き嫌いが改善されるよう指導しています。



パン給食では、小学校給食へのスムーズな連携を意識し、協力し合って配膳をしたり、みんなで残さず食べようとする気持ちを育てています。

育てて食べる野菜

野菜の栽培を通して生命や生長について関心をもち、収穫をみんなで喜びます。収穫した野菜は自分達で料理して食べたり、なすびやピーマンは家に持ち帰り、嫌いなものが食べられるきっかけづくりになります。5歳児の「お泊まり保育」の夕食は収穫したジャガイモ、ニンジン等材料に、カレーを作って食べます。買い物も自分たちで行います。



本園の食育プラン

ねらい

- 1 先生やお友達と食べることを楽しむ。
- 2 衛生習慣や基本的な食事のマナーを身につける。
- 3 食べ物への興味や関心をもち、進んで食べようとする気持ちを育てる。

「いろいろなかたちのうんち」より
みんなのうんちは バナナうんち?

	食 事	生 活・健 康	関連内容
3歳児	<ul style="list-style-type: none"> ○ゆったりとした雰囲気の中で、先生やお友達と一緒に楽しく食べることを楽しむ。 ○食事に必要な衛生習慣、マナーが身に付くようにする。 ○上手な手洗いうがいの仕方・最初はプーンやフォーク、少しずつ箸を使って食べられるように・よくかんで食べる・こぼさず食べる・おかずとご飯を交互に食べる・食事の後は、進んで歯磨きをする・弁当箱に手を添えて食べる・嫌いなものも1種類は入れる・収穫したトマト、キュウリを食べよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○早寝、早起き、朝ご飯、バナナうんちなど、家庭と連携し、よい生活習慣に関心を持つ。 ○体を十分に使った遊びを意識し、自然にお腹がすくリズムをつくる。 ・保健指導「いろいろなかたちのうんち」 ・保健指導「上手なであらい、ぶくぶくうがいとがらがらうがい」 ・よみきかせ「おべんとうの絵本」 	<ul style="list-style-type: none"> ○園だより、ほけんだより、給食だより ○連絡ノートの活用 ○お弁当、パン給食 ○野菜の栽培 ○アレルギー調査、保健調査 ○ブラッシング指導 ○パン給食試食会 ○わくわく給食体験会（小学校給食体験） ○食育講座「子どもの好き嫌いとお弁当」 ○5歳児お泊まり保育(カレーライス作り) ○夏休み「歯磨きカレンダー」 ○収穫体験(りんご・トウモロコシなど) ○親子クリスマスケーキ作り ○餅つき・まめまき ○冬休み「手洗い、うがいカレンダー」
4歳児	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろなお友達や先生との会話を楽しみながら食事をし、関わりを深める。 ○食事に必要な衛生習慣、マナーが身に付くようにする。 ○楽しい雰囲気の中で食べる・食事のマナーを知る・正しい箸の持ち方で食べる・おかずとご飯をバランスよく食べる・当番活動をする・食後の歯磨きをする・苦手なものに少しずつチャレンジする・収穫したトマト、キュウリを調理して食べよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○早寝、早起き、朝ご飯、バナナうんちなど、よい生活習慣を身につけようとする。 ○いろいろな食べ物から人の体は栄養をとっている事を知り、好き嫌いをなく食べようとする。 ・保健指導「ちぢんのはなし」 ・保健指導「上手なうがいとであらいを覚えよう」 	
5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ○お友達や先生と関わりを深めながら落ち着いた雰囲気の中で一緒に食べることを楽しむ。 ○食事に必要な基本的な習慣やマナーを身につけ、準備や片付けを進んでおこなう。 ○落ち着いた楽しい雰囲気の中で食べる・食事の姿勢や食器の持ち方にも気を付ける ○苦手なたべものにも挑戦する・よく噛むことを意識して食べる ○当番活動をすすんで行う・身の回りの衛生に気をつける(消毒・後始末など)・育てた野菜でカレーを作って食べよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○早寝、早起き、朝ご飯、運動、排泄など、よい生活リズムが身に付くようにする。 ○体の成長や健康について関心をもち、いろいろな食品を進んで食べようとする。 ・保健指導「こんなについている てのよこれ」 ・保健指導「じぶんのからだをしよう」 ・保健指導「かぜのよばよとたべもののはなし」 	



北海道教育大学附属函館幼稚園

〒041-0806 北海道函館市美原3丁目48番6号

電話：0138-46-2237 FAX：0138-47-8731

Eメール：hak-fuyou@h.hokkyodai.ac.jp

http://www.hak.hokkyodai.ac.jp/~f-kind/m/

豊かな体験と多様な連携を生かした食育の推進

北海道教育大学附属旭川幼稚園

◎食育の重点

- 1 自分たちで育て、収穫した物を食べることで、喜びを感じたり、食べ物大切さを考えたりする。
- 2 食べ物の好き嫌いをしないでおいしく食べる。
- 3 お弁当や収穫物等、食べ物の役割やバランスを考え、集団で食べるマナーを知る。
- 4 食べることを通して、作ってくれる人への感謝の気持ちをもつ。

◎食育の実際

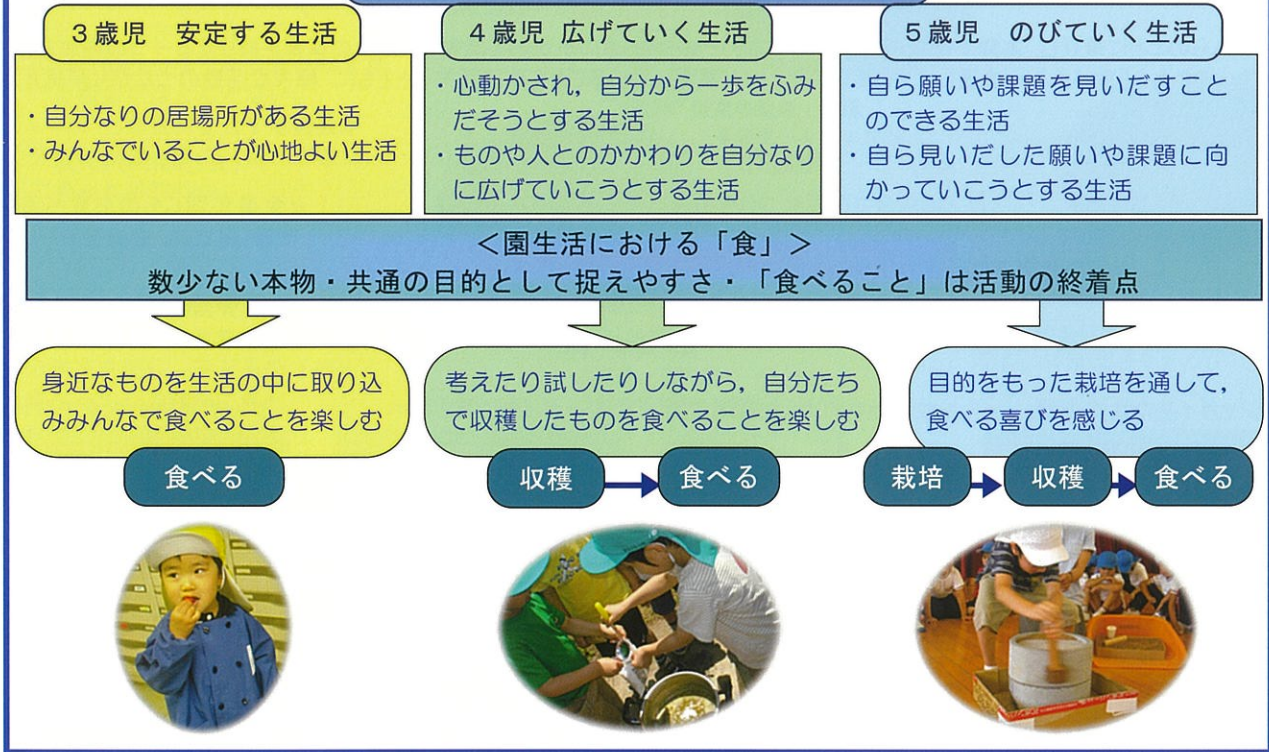


「食」がはぐくむ一人一人の育ち

山梨大学教育人間科学部附属幼稚園

＜見えてきた課題＞
 ○自分から何かに向かっていこうとする意欲が低下している
 ○人・ものとのかわりにおける新たな一歩が自分からふみだせない
 ○その子なりにやりたいことと出会っているのか
 ○教師の子どもと向き合う姿勢に問題はないのか

「子どもが自らかかわり創り出す園生活」



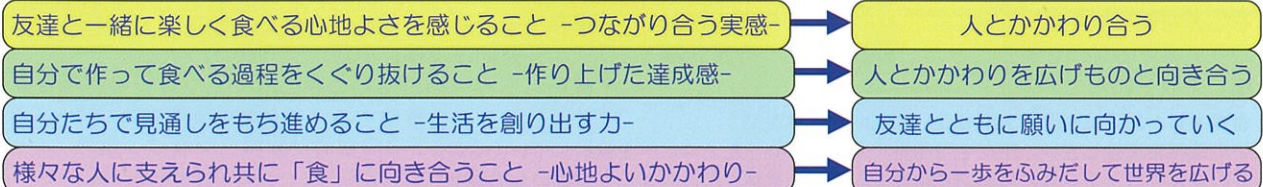
支える

- 保護者の思いを受けとめる
- 子どもの思いをつなげる
- 一人一人の育ちを支える

保護者 地域 異校種 専門機関



成果



山梨大学教育人間科学部附属幼稚園 〒400-0005 山梨県甲府市北新1-2-1
 電話：055-220-8320 FAX：055-220-8783 Eメール：kirinome@yamanashi.ac.jp

食べることを楽しむ生活

静岡大学教育学部附属幼稚園

本園における「食べることを楽しむ生活」とは…

- ・十分遊び、おなかが空いたと感じること
- ・毎日の昼食やおやつを、友達や教師と一緒に食べる
- ・園内でとれた果樹や野菜をそのまま食べたり、調理して食べたりすること
- ・はじめてのもの、いろいろなものを食べてみる
- ・誕生児の保護者も保育に参加して、おやつ作りを行う誕生会
- ・季節感を大事にし、伝統的な食材を利用した食育弁当* 等

「食べること」に関する機能

- ・成長を維持する機能
- ・食欲・嗜好を充足する機能
- ・人間関係のコミュニケーションツールとしての機能

これらのことに着目し、本園が伝統的に取り組んできた食べることにかかわる活動を、日々の保育を振り返る一つの視点とした。そこから「食べること」を通して、様々なかかわりが広がっていることを再確認するとともに、様々な活動のつながりが見えるようになった。



【まとめ】

平成 18 年度より「食べることを楽しむ生活」に継続して取り組む中で、図中の矢印(→)のように、日々の遊びがつながったり、身近な人とのかかわりが深まったりすることがわかった。栽培物を調理して食べたり、調理活動で経験したことをごっこ遊びに取り入れたり、あるいは自分たちが楽しんでいた遊びが食べる活動につながったりというように、食べることにかかわる活動を通して、子どもたちの生活に広がりや深まりが見られるようになった。

また「人間関係のコミュニケーションツールとしての機能」として、これらの活動の意味は大きく、これまであまりかかわりのなかった人に親しみを感じ、自分からかかわろうとする姿が見られるようになった。

このように、日々の生活の中に、子どもたちにとって貴重な経験になり得る出来事がたくさん散りばめられていたことに気付くことができた。子どもたちが「食べることを楽しむ生活」を通して、身の回りの環境とかかわり、多くの学びを得ることができるよう、今後も継続して取り組んでいきたい。

*食育弁当とは、幼稚園と大学教員、地域の給食業者が、互いの情報を交換し合い、子どもの発達や季節に合わせたメニューを検討していくもの。毎月の食育の日(19日)付近に、季節や咀嚼力を意識したメニューをお願いしている。子どもたちにとっては、初めての食材に出会ったり、苦手なものを自分で知ったりする機会になっている。

・マーマレードレストラン(年長児が中心になり、年少・年中児を招待する)



夏みかんの収穫・マーマレード作り

【衛生管理】

- ・検食…子どもたちが食べる 30 分以上前に、職員が子ども 1 人分と同量を食べる。安全性の確認とともに、味や量が発達段階に適しているかも確認する。
- ・保存…子どもたちが食べる全てのものを、材料別に 3 ヶ月間冷凍保存する。
- ・身だしなみ…調理活動の際には、エプロン・帽子・マスクを着用する(子どもも大人も)。

静岡大学教育学部附属幼稚園 〒420-0885 静岡県静岡市葵区大岩町 1-10
 電話 : 054-245-1191 FAX : 054-248-5166 Eメール : youchien@ipc.shizuoka.ac.jp
 HP http://www.youchien.ed.shizuoka.ac.jp

保護者と共につくる“食育”

金沢大学人間社会学域学校教育学類附属幼稚園

健康な心と体を育てるためには各家庭が食への理解を深め、望ましい食習慣を形成していくことが大切である。本園では、保護者と共に、幼児らが食べることにしかかわる体験を通じて、食べる楽しさを味わい、食べ物を大切にする気持ちや用意してくれる人々への感謝の気持ちが自然に芽生えるように食育に取り組んでいる。

<本園の食の実態>

- ・給食がなく、昼食時には家庭から持参したお弁当を食べる。そのためみんなで同じ食べ物を食べる機会がほとんどない。
- ・いろいろな食材を食する機会が少ない幼児も多く、食べず嫌いであると思われる。

<本園の食育の目標>

- ・食を通じ、健やかなところとからだの発達を促し、子どもの「楽しく食べる力」を豊かに育む。
- ・主体的に食に関わることで、感謝の気持ちや食べる楽しさを味わう。



野菜の栽培・収穫

- 4歳児…ミニトマト
- 5歳児…ナス、ピーマン、ミニトマト、サツマイモ、ハツカダイコンなど



調理・試食活動

- 5歳児…夏野菜パーティ（夏野菜炒め、夏野菜ピザ等）
- 4歳児・5歳児…味噌汁昼食
- 5歳児…手作り昼食



その他 園の行事など

- 芋茎の料理（佃煮やきんぴらなど）、焼き芋やさん、お茶会、もちつきなど

園庭での収穫物

- ヨモギ、グミ、シソ、キウイ、カキなど

先生！みんなで食べたナスピーマンの炒め物の作り方を母さんに教えてあげて！



子ども達がおいしいと言ってくれて、食育の楽しさを感じました！

家でも、家族のためにおにぎりを作ってくれました。いつもよりもたくさん食べていました。



食べたことなかったけど、（ごぼうのきんぴら）食べたら、おいしかった！！

いものつる、最高においしかった！！

夏野菜ピザが好評だったので、他のお母さんにもレシピを教えてあげたいわ。

保護者発行のレシピ

食育サークルとは…

保護者の有志からなる食に関する活動を行うサークルである。園の活動にもボランティアとして入ってもらい、子ども達と共に楽しみ、学年を超えた保護者同士の交流の場にもなっている。子ども達との活動は園が主体となり、食育サークルは園に協力し進める。



活動内容

- ・野菜の栽培や収穫
- ・収穫した野菜の調理や配膳のお手伝い
- ・レシピの発行、HP、ブログによる発信

<http://kindaifuyousyokuiku.cocolog-nifty.com/blog/>



食べること 生きること

香川大学教育学部附属幼稚園高松園舎

本園では、これまでも保育の中で食べることを通した教育活動が行われてきた。今年度は特に“食べる力”は“生きる力”に結びつくと考え、これまでの実践を振り返り、さらに改善を図る。

今年度の改善点 *

保育の中での食に関する活動

栽培 (生命の営み不思議さを感じる心)

- 一人一鉢【4歳児・全員ミニトマトの苗】
【5歳児・4種類の夏野菜の苗から1種類を選ぶことで友だちの野菜に興味・関心をもつ】
- 畑【サツマイモ・ジャガイモ・キャベツ
タマネギ・ダイコン・ニンジンなどを
栽培し季節の巡りや成長や変化を感じる】

おやつ (食べることを楽しむ・仲間意識)

- 隊形【一堂に丸くなって・グループ毎になど】
- 場所【桜の下・紅葉の見える丘・テラスなど】
- 取り方【一人ずつ・〇人ずつ・誕生日順・仲間と分ける・〇種類の中から選ぶ・ひとつまみなど】
- 食材【園庭で穫れた木の実・目の前で調理したポップコーン】

お弁当 (感謝の気持ち・自己達成感)

- 場所【色々な机の配置の工夫・ピクニックシートを持って好きな場所へなど】
- 誰と【4・5歳児で、親子で(保育参加の際)1年生と(1年生は給食)】

行事 (伝統文化への興味)

- 端午の節句【園庭のカシワの葉で作った柏餅】
- 宿泊保育【夕食・自分たちで作ったカレーライス
朝食・自分でにぎったおにぎり】*
- 遠足【早く食べて遊ぶためにおにぎり弁当
(5歳児は自分でにぎる)】*
- 中秋の名月【お月見だんごを作って食べる】
- 節分【自分たちで育てたダイズを食べる】*



団子作り



梅ジュース作り

保護者と連携した食に関する活動

- 手作り弁当【週4回 個に合わせたメニューや量】
- 手作りおやつ【年間5回 保護者の企画による】
- 文化の集い【年間4回の文化講演】
(地域の野菜ソムリエ・栄養教諭を招いて)
「地産地消について・幼児期からの食生活について・台所に子どもを立たせようなど」

幼小交流活動の中での食に関する活動

- 一緒に育てた野菜を調理して食べる*
【ダイズ・ダイコン】
- 一緒に昼食を食べる
【幼小共通の遊び場の築山で11月・1年生の教室で 2月】

香川大学教育学部附属幼稚園高松園舎 〒760-0017 香川県高松市番町5丁目1番55号
電話：087-861-2393 Eメール：ensya@ed.kagawa-u.ac.jp



コラム

幼稚園における食に関する指導 ―心と体を十分働かせて―

文部科学省初等中等教育局 教科調査官

津 金 美智子

幼稚園では、一人一人の幼児が、教師や他の幼児などとの温かい触れ合いの中で、楽しい生活を展開することや自己を十分に発揮して伸び伸びと行動することを通して充実感や満足感を味わうようにすることが大切です。それは、幼稚園生活の中で解放感を感じつつ、能動的に環境とかかわり、自己を表出しながら生きる喜びを味わうという内面の充実をも意味するもので、自己充実に深くかわるものです。

しかし、近年、こうした園での生活の基盤ともいえる幼児の体の育ちの変化、特に生きることそのものにかかわる重要な食についても朝食欠食や食そのものへの意欲の低下、家族と居ながらも孤食の状況等、食生活の乱れが見られます。その課題に対応するため、幼稚園教育要領においては、領域「健康」の内容に「先生や友達と食べることを楽しむ」ことを示し、その取扱いにおいて「食育を通じた望ましい食習慣の形成が大切であることを踏まえ、食べる喜びや楽しさ、食べ物への興味や関心を通じて、進んで食べようとする気持ちが育つようにすること」としています。

しかしながら、これらのことは、単に食生活や食習慣の改善を図るということだけではありません。生涯を通じて健康で安全な生活を営む基盤は、幼児期の愛情にしっかり支えられた安全な環境の下で、心と体を十分に働かせて生活することによって培われます。幼稚園における食に関する指導で大切なことは、『健康な心と体を育てる』という視点に立ち、幼児の心が動く体験として、「食べる楽しさや喜び」が実感できるようにすることです。幼児の食にかかわる体験を計画的・意図的に指導計画に位置づける上で、「心と体を十分働かせた」体験になっているかどうか質についての理解を深めるとともに、幼児の生活の流れとその体験のつながり、さらには一つ一つの体験の関連を考えることが必要です。



平成24年度 全国国立大学附属幼稚園研究テーマ一覧

	幼稚園名	研究テーマ	公開研究会等
1	北海道教育大学 附属旭川幼稚園	幼児が主体の保育 －幼児の生活に沿った教育課程の編成－	24. 10. 6 (土)
2	北海道教育大学 附属函館幼稚園	幼児期における言語活動の充実	24. 10. 21 (日)
3	弘前大学教育学部 附属幼稚園	協同的な学びを考える －一人一人の変容を通して－	24. 6. 30 (土)
4	岩手大学教育学部 附属幼稚園	学びの基礎を培う遊びの充実を目指して －保育環境の意味を問い直す－	25. 2. 23 (土) 公開保育無
5	宮城教育大学 附属幼稚園	かかわる力を育てる －遊びの充実を図るための環境構成について－	24. 6. 7 (木)
6	秋田大学教育文化 学部附属幼稚園	子どもと共につくる教育課程の実際 －環境とかかわりを見つめて－	24. 6. 28 (木)
7	山形大学 附属幼稚園	つながる子ども －子どものかかわりを見とる－	24. 6. 1 (金)
8	福島大学 附属幼稚園	保育を見つめ直す －学びの物語を通してのカリキュラムづくり－	24. 5. 25 (金) 5. 26 (土) 7. 31 (火)
9	茨城大学教育学部 附属幼稚園	子どもの豊かな育ちを支える －「伝えたい」「知りたい」思いに寄り添いながら－	24. 11. 25. 1. 31 (木)
10	宇都宮大学教育学部 附属幼稚園	仲間の一員として「私」の在り方 －子どもと大人が共に規範意識を高め合うために－	24. 10. 23 (火)
11	群馬大学教育学部 附属幼稚園	友達とかかわる力をはぐくむ保育	24. 6. 8 (金) 24. 10. 27 (土)
12	埼玉大学教育学部 附属幼稚園	蓄積された園文化に基づく実践資料の作成3	24. 5. 16 (水)
13	千葉大学教育学部 附属幼稚園	心が動く子どもの育成をめざす教育課程 (2年次)	24. 10. 27 (土)
14	東京学芸大学 附属幼稚園小金井園舎	今日から明日へつながる保育 －保育記録を考える－	24. 12. 8 (土)
	東京学芸大学附属 幼稚園竹早園舎	主体性を育む幼・小・中連携の教育	24. 11. 17 (土)
15	お茶の水女子大学 附属幼稚園	探究心・活用力が発揮される生活	25. 2. 8 (金)
16	山梨大学教育人間科学部 附属幼稚園	子どもが自らかかわり創り出す園生活	24. 6. 23 (土)
17	新潟大学教育学部 附属幼稚園	社会的な知性を培う (3年次) 文部科学省研究開発指定 一幼小中一貫教育研究－	24. 10. 18 (木)
18	富山大学人間発達 科学部附属幼稚園	豊かな心をはぐくむ －子どもにとっての環境をとらえ直す－	24. 6. 19 (火)
19	金沢大学 附属幼稚園	幼児の自分づくりを支える保育	24. 6. 9 (土)
20	福井大学教育地域科学部 附属幼稚園	伝え合う ひびき合う －遊びの中の学びをつなぐ－	24. 6. 16 (土)
21	信州大学教育学部 附属幼稚園	学び続ける子ども －くものゝとのかかわりを深めてきた子どもの姿を見つめて－ 幼小合同公開・幼小合同研究テーマ	24. 10. 20 (土)
22	上越教育大学 附属幼稚園	幼小の円滑な接続を促す幼児教育の推進	24. 10.
23	静岡大学教育学部 附属幼稚園	子どもが遊びこむための指導計画の作成	24. 11. 14 (水)
24	愛知教育大学 附属幼稚園	心豊かな幼児の育成 －言葉で考え表現する力に視点をあてて－	24. 11. 15 (木)

	幼稚園名	研究テーマ	公開研究会等
25	三重大学教育学部 附属幼稚園	子どもの目が輝く保育環境を考える	24.11.10(土)
26	滋賀大学教育学部 附属幼稚園	わくわくの創造 －自らのりだし人とゆきかう子どもを育てる－	24.11.15(木)
27	京都教育大学 附属幼稚園	「響き合うコミュニケーション」の力を育む教育課程の在り方	25. 2
28	大阪教育大学 附属幼稚園	かかわる力を育む ～個の伸びに着目して～ －「かかわる力」から「考える力」へ－	24.11. 3(土) 25. 2. 9(土)
29	兵庫教育大学 附属幼稚園	保育における「つながり」を考える －体験の深まりをめざして－	24. 5.30(水) 24.12. 1(土)
30	神戸大学 附属幼稚園	幼小をつなぐ幼児期のカリキュラム「神戸大学附属幼稚園プラン」 の創造 －10の方向・10の道筋で幼児教育を可視化する－	24.12. 8(土)
31	奈良教育大学 附属幼稚園	幼児期に必要なからだ力について考える	未定
32	奈良女子大学 附属幼稚園	幼小一貫教育に向けた3・4・5歳の教育課程の作成	25. 2. 上旬
33	鳥取大学 附属幼稚園	学びをつなぐカリキュラムの創造(3年次)	25. 2. 9(土)
34	島根大学教育学部 附属幼稚園	豊かな「社会生活」を創造する幼小中一貫教育の追究 －豊かな「学び」をつくる子どもの育成－	24.11.16(金)
35	岡山大学教育学部 附属幼稚園	考える力を育てることばの教育 －「ことばの力」を豊かにはぐくむ援助のあり方を探る－	24.11. 7(水)
36	広島大学 附属幼稚園	森で育つ －森の幼稚園の保育プラン－	24. 5.26(土) 11. 9(金)
37	広島大学 附属三原幼稚園	社会的自立の基礎となる能力・態度及び価値観の体系的な育成の ための幼小中一貫の新領域による自己開発型教育の研究開発	24.11.16(金) 11.17(土)
38	山口大学教育学部 附属幼稚園	保育力の向上をめざして －子どもの思いを読み取りつなぐ－	24.11. 8(木)
39	鳴門教育大学 附属幼稚園	幼小接続の教育課程開発 －遊誘財がひきだす科学的思考Ⅱ－	25. 2. 9(土)
40	香川大学教育学部 附属幼稚園坂出園舎	幼児教育の質を高める計画と実践の在り方考える －主体性と協同性の視点から－	本年度はしません
	香川大学教育学部 附属幼稚園高松園舎	生きる力を育む保育環境の在り方	25. 2. 8(金)
41	愛媛大学教育学部 附属幼稚園	未来を拓く力の育成	25. 2. 8(金)
42	高知大学教育学部 附属幼稚園	発達の連続性をふまえて経験の意味を問う －よく考えて行動する子どもを育む行事のあり方－	未定
43	福岡教育大学 附属幼稚園	未定	未定
44	佐賀大学文化教育学部 附属幼稚園	自律性が育まれる保育	25. 2.24(日)
45	長崎大学教育学部 附属幼稚園	小学校以降の学びを見通した幼児の学びの探求 －観察・記録・分析の工夫・改善を中心に－	24.11. 9(金)
46	熊本大学教育学部 附属幼稚園	感じる 考える 伝え合う子ども －思考力の芽生えを培う(2年次)－	25. 1.26(土)
47	大分大学教育福祉科学部 附属幼稚園	豊かな心と創造性を育む －「自分で」「自分から」「自分たちで」遊びや生活を作り出す 楽しさを味わえるような環境の構成や援助の在り方－	25. 1.26(土)
48	宮崎大学教育文化学部 附属幼稚園	かかわる力を育てる援助の在り方	25. 2. 8(金)
49	鹿児島大学教育学部 附属幼稚園	かかわる力を育むⅢ －言葉の育ちに着目して－	25. 1.25(金)



—発行—

全国国立大学附属学校連盟幼稚園部会

—事務局—

茨城大学教育学部附属幼稚園

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸2-6-8 TEL: 029-224-3708 FAX: 029-224-3725
E-mail: t.minami@mx.ibaraki.ac.jp